

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(11月9日から11月15日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	0		0

COVID-19疑い患者	1	腹腔鏡手術	1
--------------	---	-------	---

事前シミュレーション実施	あり	1
	なし	0
	記載なし	0

自由記載

疑い	帝王切開	術後は挿管のまま陰圧室へ移動した。翌日PCR検査確認後に抜管した。 当院では平日時間内しかPCR検査が行えないため、休日は疑い症例もCOVID症例として扱う。 普段使用していない手術室で全身麻酔を行った。一般の妊婦と動線を変えると器械・薬品の移動が大変で、麻酔器は不慣な旧式のものを使用した。 陰圧のHCUに入るのは挿管患者のみと決まっており、子癇発作による意識障害や抗痙攣薬を使用している場合は陰圧の病室で観察しなくてはならない。病棟スタッフは助産師で、バイタルサインの変化を観察することに不慣れである。また、バイタルサインは自動取り込みされず、カルテ記載は手入力で労務も増えた。
----	------	---

手術室で気管挿管	1	McGrath	0
(喉頭展開1回で挿管)	(1)	AWS	1
区域麻酔	0		
局所浸潤麻酔	0		
	PPE	フェイスシールド	1
		ゴーグル	0
		シールド付きマスク	0
		記載なし	0
		N95	1
		PAPR（動力付き）	0
		手袋2枚	1
		手袋1枚	0